

学校だより



せいび

令和8年3月2日

杉並区立済美小学校

校長 八代 史子

…済美小学校の大事なひとりになろう…

〒166-0013 杉並区堀ノ内 1-17-24 TEL 03-3313-2364 FAX 03-3313-8634

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibishou/>

済美丸、まもなく着港です

校長 八代 史子

昨年4月、472名の子どもたちとともに船出した済美丸は480名に増え、間もなく目的地の港に着こうとしています。船の中やたくさんの寄港地での様々な出会いと経験を通じて、子どもたちは大きく成長しました。希望を胸に新たな船に乗り継ぐ6年生を先頭に、新たな乗組員を迎えての船出に向けて、残りの1か月を大切に過ごしてまいります。この1年間の教育活動へのご理解・ご協力に心より感謝申し上げます。

共生

かかわりを通してちがいを認め合い
ともに「今」をよりよく変えようとする子

目指す児童像

主体的に学び「なりたい自分」に
自己を育てようとする子

自立

さて済美小学校は、この1年間上記2点を大事にしながら教育活動を進めてまいりました。学びをつなげ、人とつながりながら自己を育て、社会の一員として働きかけができる子どもを、どうすれば育てるか——学校だけでなくPTAや学校運営協議会、学校支援本部など、多くの方々のご支援を頂きながら試行錯誤した1年でした。11月にはその中間発表を「学習発表会」として保護者・地域の皆さんにご覧いただきました。

そして「中間」と銘打ったからにはその後があります。

例えば、防災をテーマにしたクラスは、今、子どもたちで区役所の防災課に連絡をし、起震車を学校に呼んだり防災バッグを実際に背負ってみたいとお願いをしたりしています。子どもだけではなく保護者の方にも啓発したいと、保護者向けのお便りを自分たちで作成し、取組への参加を呼び掛けています。

生き物が暮らしやすい環境をテーマにしたクラスは、先日環境ネットワークのみなさんのご協力ですべて野鳥観察会を開き、季節によって変化する堀ノ内の自然を学んでいます。SDGsをテーマにしたクラスは、地域の保育園に出向き幼児向けのイベントを行おうと計画しています。校内に広めるためにポスターや動画などで落とし物やごみを減らそうとしているグループもあります。ここには書ききれませんが、確実に子どもたちの学びに向かう姿勢が変化してきているのを感じています。

先日、出前授業を依頼するために子どもたちで区役所に電話をかけたいと依頼に来たグループに、「自分たちで準備するって大変じゃない？大変なことは先生にやってもらったら？」と伝えてみました。すると、子どもたちからは「校長先生、もっと子どもだった時の気持ちを思い出してください。大変だけど、でもそれを頑張るから達成感があるんです。だから自分たちでやりたいんです。」と返ってきて、とても驚きました。先生から言われてやるのではなく、既に「私(たち)の」学習(プロジェクト)になっているのです。自分事として学びを創り、仲間と分かち合うことで、達成感や自己有用感、合意形成のスキルなど、大人になっても社会の様相が変わっても子どもたちの中に残せるものを、来年度も大切にしていきたいと思います。

★済美小学校ホームページ公開中！★★★

済美小学校の教育活動について、ホームページ「学校の様子」で公開しています。右のQRコードを読み取りご覧ください。

